

平成 29 年 11 月 29 日  
水管理・国土保全局  
河川計画課

**「水防災オープンデータ提供サービス」をリニューアルします！**  
**～積雪、水質、海岸等のデータを新たに配信～**

国土交通省では、河川情報の利活用の促進を目的に、平成 25 年度から実施している河川水位等のデータ配信事業を、平成 30 年 4 月より「水防災オープンデータ提供サービス」としてリニューアルします。

これまで提供してきた河川水位や雨量のデータに加え、新たに積雪、水質（PH 等）、海岸（潮位、波高等）及び洪水予警報（洪水予報、水位周知河川情報、水防警報、ダム放流通知）を追加する等、利用者のニーズに合わせたデータの提供を開始します。 **資料 1 参照**

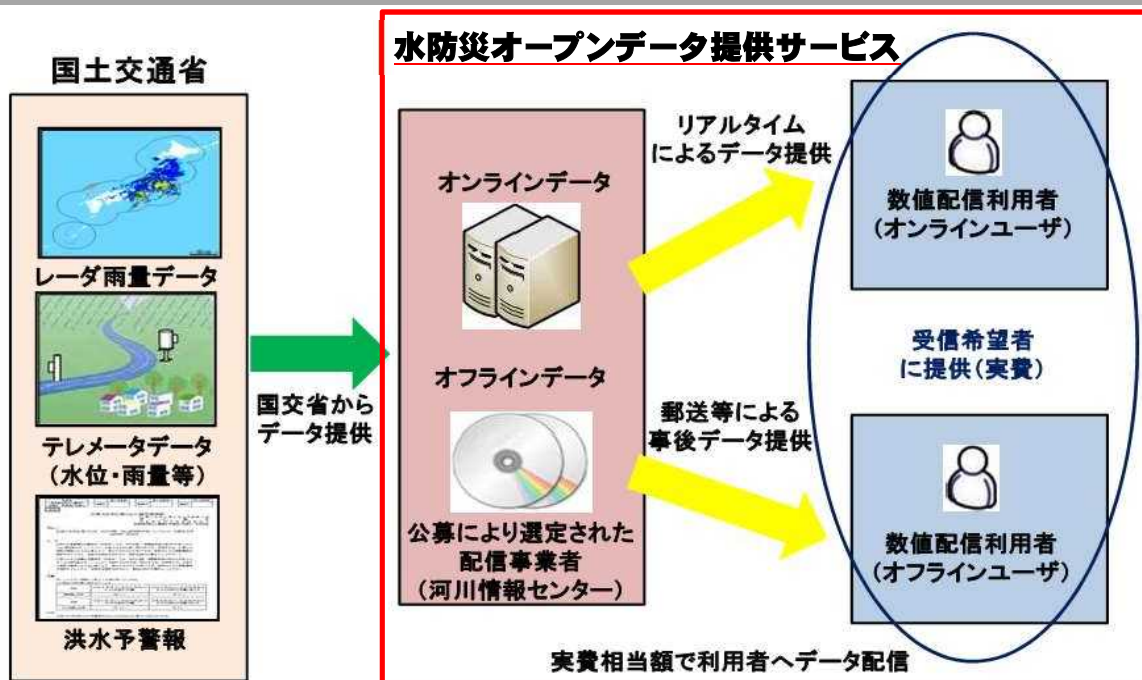
「水防災オープンデータ提供サービス」とは、国が観測したレーダ雨量、雨量・水位等や東京都をはじめ 47 都道府県所管の雨量・水位、洪水予警報（洪水予報）等の河川情報数値データを、配信事業者（一般財団法人 河川情報センター）を通じて、民間事業者など受信希望者に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信する事業です。（これまでの「河川情報数値データ配信事業」より名称を変更） **資料 1、2 参照**

今後とも、広く民間事業者に利活用頂く事で国民の皆様に河川情報が提供されるよう、利用ニーズに合わせたデータ提供の充実に取り組んでまいります。

事業の詳細、データ配信を希望する方は、添付資料又は以下ホームページをご覧ください。

（一般）河川情報センター <http://www.river.or.jp/01suuchi/index.html>

「水防災オープンデータ提供サービス」のデータの流れ



【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室  
課長補佐 秋葉(内線 35392)、地球温暖化分析係長 土屋勇太(内線 35396)  
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX03-5253-1602

平成 29 年 11 月 29 日  
水管理・国土保全局  
河川計画課

**「水防災オープンデータ提供サービス」をリニューアルします！**  
**～積雪、水質、海岸等のデータを新たに配信～**

国土交通省では、河川情報の利活用の促進を目的に、平成25年度から実施している河川水位等のデータ配信事業を、平成30年4月より「水防災オープンデータ提供サービス」としてリニューアルします。

これまで提供してきた河川水位や雨量のデータに加え、新たに積雪、水質（PH等）、海岸（潮位、波高等）及び洪水予警報（洪水予報、水位周知河川情報、水防警報、ダム放流通知）を追加する等、利用者のニーズに合わせたデータの提供を開始します。 **資料1 参照**

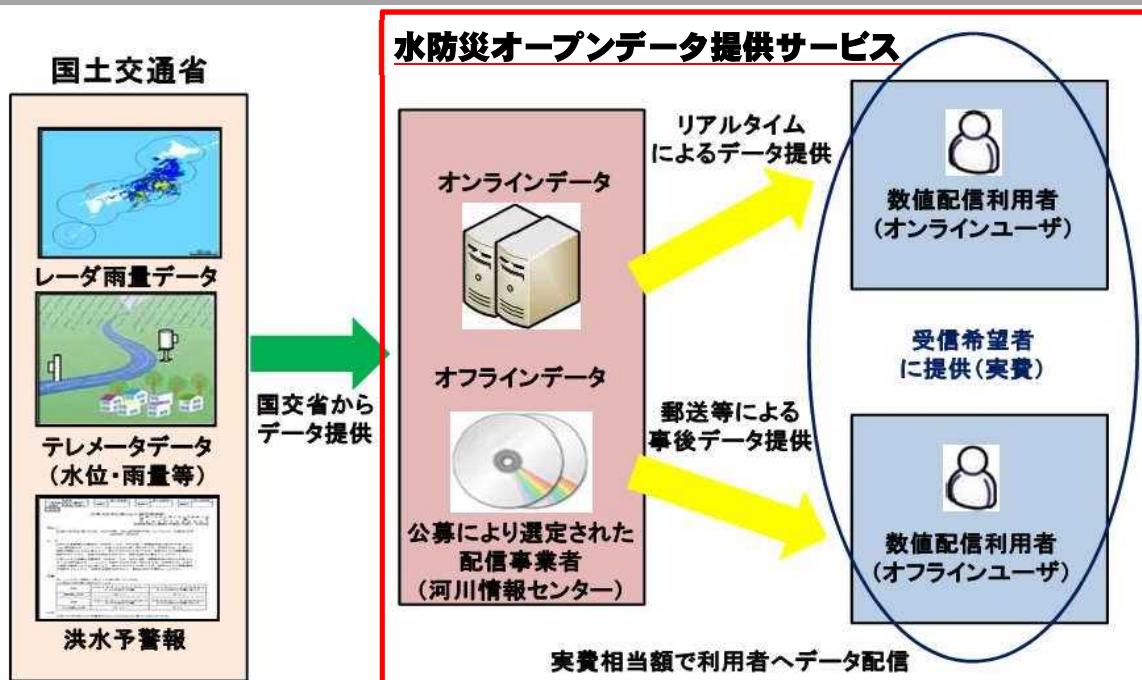
「水防災オープンデータ提供サービス」とは、国が観測したレーダ雨量、雨量・水位等や東京都をはじめ47都道府県所管の雨量・水位、洪水予警報（洪水予報）等の河川情報数値データを、配信事業者（一般財団法人 河川情報センター）を通じて、民間事業者など受信希望者に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信する事業です。（これまでの「河川情報数値データ配信事業」より名称を変更） **資料2 参照**

今後とも、広く民間事業者に利活用頂く事で国民の皆様に河川情報が提供されるよう、利用ニーズに合わせたデータ提供の充実に取り組んでまいります。

事業の詳細、データ配信を希望する方は、添付資料又は以下ホームページをご覧ください。

（一般）河川情報センター <http://www.river.or.jp/01suuchi/index.html>

「水防災オープンデータ提供サービス」のデータの流れ



【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室  
課長補佐 秋葉(内線 35392)、地球温暖化分析係長 土屋勇太(内線 35396)  
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX03-5253-1602

水防災オープンデータ提供サービスとは河川情報数値データ配信事業の愛称のことで、河川情報の利活用促進を目的として、国が観測したXRAIN雨量、Cバンドレーダ雨量、水管理・国土保全局所管のテレメータ（雨量、水位など）、東京都をはじめ全都道府県所管のテレメータ（雨量、水位など）の河川情報数値データ及び洪水予警報（洪水予報など）を受信希望される皆様に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信する事業です。

詳細は当センターのホームページをご覧ください。

（<http://www.river.or.jp/O1suuchi/index.html>）

## 「水防災オープンデータ提供サービス」のデータの流れ

### ◆ リアルタイム方式（専用線・閉域網利用）

リアルタイム方式は、国土交通省が各種河川情報システムで標準的に使用されているソケット通信方式を使用します。

この方式は、データ配信専用の通信回線を用いてデータ配信を行う方式で、安定性、即時性を必要とする場合や多数の地域・地方の大量のデータ配信を希望するユーザを対象としています。

### ◆ 準リアルタイム方式（インターネット利用）

準リアルタイム方式は、インターネット利用を希望するユーザに対してほぼリアルタイム（5分間隔）でデータを配信する方式です。

専用線方式と比較するとやや遅延が大きいため、即時性を必要とせず、受信する地域・地方を絞ってデータ配信を希望するユーザを対象としています。

### ◆ 蓄積一括方式（インターネット利用）

蓄積一括方式は、インターネット利用を希望するユーザに対して、1日単位でまとめて過去のデータを配信する方式で、リアルタイム性の必要がなく、蓄積データをまとめてデータ配信を希望するユーザを対象としています。

この方式を利用される場合、一度に配信するデータ量が多くなる可能性があることから、地方数・地域数のデータ量に制限を設けさせていただきます。













